

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人藤聖母園 放課後等デイサービス事業所やっほ〜クラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○支援をするスペース(個室・ホール)が複数あることで、活動内容が設定しやすい。	<ul style="list-style-type: none"> 広いスペースがあることで、体を使ったダイナミックな活動(運動・ダンス等)設定することができる。 場所によって活動プログラムの内容を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択をする機会から一人でもできる部分を増やす内容にしていく。 将来に向けて、余暇に繋がる支援の内容を増やしていく。 外部講師を依頼するなど、活動プログラム内容の幅を広げていく。 アセスメントに基づき、一人ひとり発達段階、特性に応じた内容にしていく。
2	○地域資源を活用する機会が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設、公共機関を活用する活動を企画している。 地域で行われるイベントの情報確認。 派遣講師、講演を活用して、こどもたちの参加状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設、公共機関と地域資源を活用する機会を増やしていく。
3	○隣接する同法人の事業所(保育園、障害者施設、老人ホーム等)と交流する機会がある。	<ul style="list-style-type: none"> 交流を図る機会として、ダンス等発表する場を企画している(交流に向けて活動の中で取り入れ、準備している)。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流する回数が少ないので増やしていく。 次年度の計画で広げる機関を組み入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○事業所で取り組んでいる支援内容について、保護者へ伝えきれていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 支援について、活動内容についてはSNSやお便り等で発信しているものの、伝えきれていない部分がある。 保護者が参加する行事では参加者が限られてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が参加する行事について、保護者が興味を持つ内容等を検討していく。
2	○他機関(相談支援事業所、学校、行政機関等)と連携を図っているものの、回数が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所との連携はある程度図れているものの、支援時間の関係で、学校、行政機関と集まる機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談以外で電話やオンラインを活用しながら、連携を図る機会を増やしていく。
3			